

施策評価シート（令和2年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出		評価者	政策担当部長		
施策内容	今後の人口減少を視野に、ICT技術等の導入による行財政のスリム化と、コンパクトシティを考慮した施設の統廃合による公共施設の継続性をもった適正管理を進めます。 また、未利用町有地を町民主体の運営組織による独創的で柔軟な活用を進めることで、自然の魅力を感じられ、多世代が気軽に集える新たな魅力となる場を創出します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	公共施設再配置事業	良好	有効だった	地域集会施設の一部（6施設）の耐震診断を行った他、今後の方向性を地区と協議した。	
	2	財産管理経費	適当	有効とは言えない	普通財産の管理について、方向性を整理できていない。	
	3	東大果樹園跡地活用事業 ●推進交付金対象事業	適当	有効とは言えない	協議会の活動が3年目に入り、各団体が同じ方向性を持って活動することの難しさが出てきた。	
	4	新庁舎整備事業	良好	有効だった	ワークショップ等により意見を聴取し、今後の方向性を見出すことができた。	
	5	行政改革の推進（まちづくり総合調整事業）	適当	有効だった	職員提案が職場改善、町民サービスに繋がる好事例が出てきている。	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	公共施設の総延床面積（㎡）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	68,729.08	68,590.24	68,451.40	68,312.57	D
	実績	68,729.08				
	分析	二宮町公共施設再配置に基づき推進しているものの、短期的に数値に反映することが困難である。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	年少人口（15歳未満）の転入人数（人）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	143	160	170	180	B
	実績	123				
	分析	社会移動は増加傾向にあるものの、全国的に少子化が進行する中、KPIを達成することは難しい。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数（回）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	0	10	15	20	D
	実績	2				
	分析	緊急事態宣言が続き、ほとんどイベントを開催することができなかった。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	
重要業績評価指標（KPI）④	指標名	耐震未確認の地域集会施設数（施設）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	9	3	3	0	A
	実績	3				
	分析	方向性の決まった地域集会施設の耐震診断が終了したので、残された施設について、今後の方向性を地域と協議する。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域集会施設を1地区1施設としていくことについて、該当地区への説明が終わり、未耐震施設の耐震診断を行い、今後の方向性の協議を進めることができた。 ・新庁舎建設について、ワークショップ・シンポジウムを開催し、今後の方向性を整理することができた。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の進捗を確認し、見直しをする必要がある。 ②東京大学果樹園跡地の活用について、補助金の最終年度に当たり今後の方向性を整理していく必要がある。 ③普通財産について、売却等を含め、今後のあり方について共通認識を持つ必要がある。 			
	改善点 (課題番号に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度の改定に向け、進捗を確認し課題を整理する。 ②協議会との対話の機会を通じ、令和4年度以降の管理のあり方を協議する。 ③土地調整委員会による協議の機会を増やしていく。 			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった	

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> ●東京大学果樹園跡地の活用については、一部のしか活用していないこと、また情報発信が不足していることが課題である。多くの人の利用につなげるために、どのような施設で、どのように活用できるのかを、実際の利用者の声も含めて積極的に情報発信する必要がある。また、民間のアイデアの活用は有効であるため、幅広い町民から意見を求め、イベントのみならず憩いの空間としての活用などの検討も必要だと考える。 ●公共施設については、新庁舎整備、再配置、耐震化等、災害時の町民ライフラインの根幹であり最優先で推進すべき取り組みである。行政サービスの充実、災害対応、地域活性化等のため、町民理解を得ながら今後も着実に取り組みを進める必要がある。また、公共施設の有効活用においては、様々な社会課題を包括的な取り組みで解決するような視点も踏まえ、持続可能な取り組みへと発展させる必要がある。 ●施策の方向性とKPIとの関連性が分かりづらい。施策をより推進するためには、KPIと達成に必要な取り組みをしっかりと分析する必要がある。 			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名	行政評価の方向性	総合戦略	
			方向性	特記事項
1	公共施設再配置事業 (担当課：施設再編課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の改定に向け、進捗を確認し課題を整理する。 ・行政サービスの充実、災害対応、地域活性化等のため、町民理解を得ながら今後も着実に取り組みを進める。
2	財産管理経費 (担当課：財務課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産のあり方（売却等を含む）について共通認識を持つため、土地調整委員会による協議の機会を増やしていく。

各事業の 今後の方向性	3	東大果樹園跡地活用事業 ● 推進交付金対象事業 (担当課：施設再編課)	要改善	見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・東大果樹園跡地活用協議会との対話の機会を通じ、令和4年度以降の管理のあり方を協議する。 ・具体的な活用方法、利用者の声も含めて、積極的に情報発信する。 ・幅広い町民から意見を求め、イベントのみならず憩いの空間としての活用などを検討する。
	4	新庁舎整備事業 (担当課：施設再編課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度までに整った合意形成に基づき策定した新庁舎・駅周辺公共施設再編計画を着実に推進する。
	5	行政改革の推進 (まちづくり総合調整事業) (担当課：企画政策課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル社会の実現に向け、推進体制を整備するとともに、デジタル化推進計画に基づき、着実に推進する。